

地方創生推進交付金・地方創生加速化交付金事業 検証結果(平成29年度分)

交付対象事業の名称	事業概要	事業費 (うち交付金充当額) 【単位:円】	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評	
			指標名	単位	目標値	実績値			
地方創生推進交付金									
1	稼ぐ力で自立するハイブリッドビジネスサポートシステム構築事業	◆目的 「つくる・加工する」支援のAma-biZと、「売る」支援の天草宝島物産公社の支援を連携させることで、さらなる売上アップにつなげる。  ◆内容 【ニーズ調査等】天草宝島物産公社 ・取引業者と取扱商品等の現状調査を行い、商品ごとの売れ行きやニーズを調査。 ・ブラッシュアップが必要な商品や、ニーズが見込める商品等を洗い出す。  【商品力向上】Ama-biZ ・物産公社の情報をもとに、中小企業者や生産者とともに商品改良等に取り組む(ブラッシュアップ)。  【売り込み】天草宝島物産公社 ・新たな取引先へ、ニーズに応じた商品売り込む。 ・大市場である関東圏域への売り込みを強化する。	63,354,486 (31,677,243)	天草産品の新規取引業者数	社	60	59	◆事業を継続する。  Ama-biZと天草宝島物産公社が連携する形(ハイブリッドビジネスサポートシステム)が構築されたことにより、ほぼ予定どおりの成果を見出すことができていますが、更にお互いの組織の強みを生かして、売れる商品の開発及び、市内の生産者・加工業者等の販路拡大(売上アップ)につなげていくため、以下の取り組みによる連携の強化を図る。  ①事務局レベルでの定期的な打合せ会議の開催(月1回程度:無料相談会時に開催)  ②物産公社が保有するFCPシート(商品カルテ)及び、FAMツアーの情報提供(必要に応じてツアーへの同行)  ③Ama-biZが実施する「天草良品開発」への参加	◆「効果的であった」と評価。  ●指標について、2019年の目標値に迫る実績が出ている。さらにAma-biZ、天草宝島物産公社とともに、単体での成果を出しており効果的であったと言える。  ●売れる商品開発と売上アップを実現できる生産者・加工業者等を更に増やしていくために、両支援機関の密な情報共有による状況把握に努め、きめ細かい連携支援を求める。